

# まちみらい ニュース Vol.73 News

編集 (財)まちみらい千代田

〒101-0054 千代田区神田錦町3-21  
ちよだプラットフォームスクウェア4階  
TEL3233-7555(代) FAX3233-7557  
http://www.chiyoda-days.jp



## 「東京都地域中小企業応援ファンド」 のお知らせ!

まちみらい千代田では、平成20年度より、東京都の認定を受け、区内中小企業の「東京都地域中小企業応援ファンド」の利用申請をサポートしています。

「中小企業応援ファンド」は、東京都及び国が資金を拠出し運用益を活用し、助成する事業です。地域の魅力向上や課題解決に取組み意欲とアイデアに溢れた中小企業者等のビジネスプランに対して助成金を交付し、地域密着型のイノベーション

を数多く生み出すことをねらいとしており、都市問題の解決や地域資源の活用に資するビジネスを支援するもので、新たな事業の掘り起こしから、販路開拓まで支援をおこないます。

申請要件 東京都内での創業を具体的に計画している、個人事業者、中小企業、組合、NPO等。助成期間2年、助成限度額800万円、対象経費の1/2助成となります。

平成22年度は、当財団の

支援により、昭和測器株式会社、一般社団法人リーガルパークの2社が助成採択を受けました。平成23年度の予定は次の通りとなります。

申請 第1回・平成23年5月中旬頃

※詳細はまちみらい千代田までお問い合わせください。

問合せ 産業まちづくりグループ  
☎32333-7558(直通)

## 支援の手を広げよう

東日本大震災により被災された方々に、心よりお見舞い申し上げます。

財団法人まちみらい千代田

## 千代田まちづくりサポート 助成活動募集



この助成金は、当財団の賛助会員の方々の会費によって賄われています。申請については、応募の手引きをご覧ください。

※応募の手引きおよび申請書類はホームページ  
(URL) <http://chiyoda-days.jp/development/activity/> もしくは

### 5月9日(月)より受付開始

13回目を迎える「千代田まちづくりサポート(まちサポ)」。助成活動の募集を5月9日(月)から開始します。

9日(月)から開始します。まちサポは、千代田区のみを元気にしたい、そんな思いを実現するためのまちづくり活動に対して助成します。

財団窓口で入手できます。助成対象 千代田区を中心とした市民レベルのまちづくり活動

助成額 ・トライアル部門 一律5万円  
・一般部門 5万円〜50万円

応募資格 3人以上のグループで、千代田のまちづくりに関する活動であれば、在住、在勤、在学、国籍を問わずに誰でも応募できます。

応募制限 同一の企画内容で千代田区または区に關係する団体などから助成を受けている活動や政治・宗教・営利を目的とする活動は助成対象になりません。

申請受付 5月9日(月)〜24日(火)予定

※申請に際しては、内容を確認します。電話予約のうえ申請書を窓口までお持ちください(郵送・Eメール不可)。事前の相談は随時受付けています。

公開審査会 申請内容を公開の場で発表していただき、助成の可否および助成額について審査します。

## 「ちよだ青空市」開催について

次回の「ちよだ青空市」は5月11日(水)を予定していますが、詳細につきましては、NPO法人農商工連携サポートセンターまでお問い合わせください。

問合せ NPO法人農商工連携サポートセンター  
☎5259-8097

ついで審査します。

日時 6月11日(土)予定

会場 ちよだプラットフォームスクウェア5階会議室(神田錦町3-21)

活動報告会 助成対象となった場合は、中間発表会(11月)、活動成果発表会(3月)で活動内容を報告してもらいます。

問合せ 産業まちづくりグループ  
☎32333-7558(直通)



## マンションの劣化診断調査・大規模修繕工事のご案内

3月11日の大地震からひと月が経過し、建物へのダメージ等が懸念されます。

まちみらい千代田では、マンションの現状を確認し、先々に行う大規模修繕・これから大規模修繕を行う際の事前調査等に対する助成制度をご用意しております。制度を活用して、建物の状態を把握し、適正に維持しましょう。

① 窓口相談・無料相談会  
まちみらい千代田の窓口・電話で随時マンションに関する助成制度や諸問題についてアドバイスをさせていただきます。毎月第3水曜日の15時〜17時まで、マンション管理士によるマンションの無料相談会を実施しております。

② まちづくりアドバイザー派遣  
再開発・共同建替え・マンションの単棟での建替え等における活動の初期段階での勉強会。

③ 建替え等検討調査費助成  
概ね築30年を経過した分譲マンションで、建替えか大規模修繕かを検討する上で、必要となる調査費用の一部を助成します。

④ 計画修繕調査費助成  
区内の分譲マンション及び賃貸マンションで、大規模修繕工事を行うための事前調査として、建物の劣化診断調査を行う際の調査費用の一部を助成します。大規模修繕は、マンション生活をおくる上で、避けては通れません。マンションで

会、マンションの大規模修繕工事や管理組合の適正な運営の仕方、理事会の適正な進め方など、マンションの適正な維持管理を行うための勉強会に対して、まちづくりアドバイザーを派遣いたします。

回数 年間6回まで、1回の派遣は2時間までとさせていただきます。

期間 同一事業に関して連続する3年間を限度とします。

③ 建替え等検討調査費助成  
概ね築30年を経過した分譲マンションで、建替えか大規模修繕かを検討する上で、必要となる調査費用の一部を助成します。

④ 計画修繕調査費助成  
区内の分譲マンション及び賃貸マンションで、大規模修繕工事を行うための事前調査として、建物の劣化診断調査を行う際の調査費用の一部を助成します。大規模修繕は、マンション生活をおくる上で、避けては通れません。マンションで

来るべき大規模修繕に備え、事前の建物診断調査(劣化診断調査)を行っていきましょう。

対象 築8年を経過した、区内分譲マンション管理組合及び賃貸マンション所有者

助成額 調査にかかる費用の1/2でかつ上限50万円

対象経費 ①大規模修繕工事を行うための事前調査である建物の構造及び設備の劣化診断調査にかかる費用 ②長期修繕計画作成に係る費用

※助成は年度内1回限りとし、同一項目については10年を経過するまで申請できません。

⑤ 分譲マンション共用部修繕工事債務保証料助成制度  
住宅金融支援機構の「マンション共用部分リフォームローン」による融資を受け、(財)マンション管理センターの債務保証を受けた管理組合に対し、その債務保証料の一部を助成し、マンションの維持・管理を支援します。

対象 区内分譲マンションの管理組合

経費 債務保証料の一部

助成額 (財)マンション管理センターに支払った債務保証料額以内で、かつ助成限度額は50万円です。ただし補助率は、マンションの住民登録率により異なります。

問合せ 住宅まちづくりグループ  
☎32333-3223(直通)

① 窓口相談・無料相談会  
② アドバイザリー派遣  
③ 建替え等検討調査費助成  
④ 計画修繕調査費助成  
⑤ 債務保証料助成

東京都 利子補給制度  
※共用部リフォーム融資

対象 概ね築30年を経過した分譲マンション管理組合

助成額 調査等にかかる費用の1/2でかつ上限100万円

期間 最初に申請した年度の4月1日より起算し3年間を限度とします。

限度額 総額100万円を限度とします。

④ 計画修繕調査費助成制度  
区内の分譲マンション及び賃貸マンションで、大規模修繕工事を行うための事前調査として、建物の劣化診断調査を行う際の調査費用の一部を助成します。大規模修繕は、マンション生活をおくる上で、避けては通れません。マンションで

来るべき大規模修繕に備え、事前の建物診断調査(劣化診断調査)を行っていきましょう。

対象 築8年を経過した、区内分譲マンション管理組合及び賃貸マンション所有者

助成額 調査にかかる費用の1/2でかつ上限50万円

対象経費 ①大規模修繕工事を行うための事前調査である建物の構造及び設備の劣化診断調査にかかる費用 ②長期修繕計画作成に係る費用

※助成は年度内1回限りとし、同一項目については10年を経過するまで申請できません。

⑤ 分譲マンション共用部修繕工事債務保証料助成制度  
住宅金融支援機構の「マンション共用部分リフォームローン」による融資を受け、(財)マンション管理センターの債務保証を受けた管理組合に対し、その債務保証料の一部を助成し、マンションの維持・管理を支援します。

対象 区内分譲マンションの管理組合

経費 債務保証料の一部

助成額 (財)マンション管理センターに支払った債務保証料額以内で、かつ助成限度額は50万円です。ただし補助率は、マンションの住民登録率により異なります。

問合せ 住宅まちづくりグループ  
☎32333-3223(直通)

# 平成23年度の事業計画を策定

まちみらい千代田にとって7回目の事業年度となる平成23年度は、これまでの「住宅まちづくり」「区民住宅の供給」「産業まちづくり」「普及啓発」の4つの柱を基本に、それぞれの柱の内容を見直すことで、事業の一貫性を確保しつつ、「暮らし」「働き」「集う」皆様とともに、より積極的な事業展開をしていきます。

づくりアドバイザー派遣、再開発等推進組織に対する支援)

## ●区民住宅の供給

引き続き借上型区民住宅を管理運営し、区民等の皆様に区民住宅を提供します。

・借上型区民住宅の管理運営(10住宅、152戸)

## ●普及啓発

地域社会で「暮らし」「働き」「集う」方々の理解と協力に基づくまちづくりを推進するため、人々の協働のまちづくり活動を支援し、千代田区ならではの情報発信等を行い、より魅力的な地域づくりをサポートします。

・地域活性化の支援(千代田まちづくりサポーターの実施、区の花さくら再生等)  
・情報の発信と交流(地域ポータルサイト「千代田 days」の運用等)  
問合せ 企画総務グループ  
☎3233-7556(直通)

## ●産業まちづくり

地域産業の振興に向けて、中小企業の中堅優良企業への成長を支援するとともに、起業家の育成・支援を行います。

また、ちよだプラットフォームスクウェアを拠点として地域産業の活性化に取り組めます。  
・中小企業成長支援(経営相談、専門家派遣、地域応援ナビゲータ、千代田ビジネス大賞、ビジネス情報プラットフォーム「chibiz」等)  
☎3233-7556(直通)

## ●住宅まちづくり

区内居住者の約8割の方が住んでいるマンションの居住環境の整備促進を中心に、魅力ある地域居住環境の整備支援を行います。

・マンション居住環境の整備促進(相談窓口の設置、理事長連絡会の開催・運営、各種助成支援の実施等)  
・地域環境の整備促進(まち

# マンション無料相談会のご案内

まちみらい千代田では『マンションの維持管理に関する相談』のさらなる充実を図るため、『首都圏マンション管理士会 都心区支部』の協力を得て、マンション無料相談会を行っております。

平成23年4月からは、会場に常駐しているマンション管理士を4名に増員して、相談者に対し、2名のマンション管理士と財団職員で相談をお受けいたしますので、お気軽

にお申込みください。

事前に相談内容等について、まちみらい千代田へご連絡をいただければ、より詳細なアドバイスが行えます。  
※相談は1回30分程度、予約の方を優先します。

とき 毎月第3水曜15時～17時(当日受付は16時まで)  
会場 ちよだプラットフォームスクウェア5階会議室(神田錦町3-21)

※当日、まちみらい千代田の4階事務所へお越しください。

なお、マンションでの日常生活や建物の維持管理等のご相談、マンションに関する各種助成制度の申請についての相談等は、随時受け付けております。

問合せ 住宅まちづくりグループ  
☎3233-3223(直通)

## [企業探訪] 第3回千代田ビジネス大賞・大賞受賞企業「鈴新株式会社」 “着実なしなやか経営で75年の老舗鋼材卸売会社”

代表取締役 鈴木猛 社長 取締役 鈴木悦子 総務部長



今回は、第3回千代田ビジネス大賞で大賞を受賞された鈴新株式会社です。鉄鋼2次製品の卸売という経営環境としては大変に厳しい条件下にありながら、75年の長きにわたって着実に事業展開されています。その秘密はいったいどこにあるのでしょうか？

### 1. 創業は先代鈴木新助社長

先代鈴木新助氏(現社長の父)は、

大正13年、当時東京一の鉄鋼製品の販売会社であった野崎栄蔵商店に入社。昭和10年には3件の得意先を分けてもらって鈴木新助商店(当時)として独立しました。得意先の2社がレコード針の

製作会社で、鈴新株式会社は、レコード針の材料というニッチな付加価値を持った材料・製品を提供することからスタートした会社なのです。

### 2. 得意先と仕入先の間で

鈴新株式会社の営業活動の特徴は、得意先と仕入先の間での動きにあります。得意先が「困ったなあ、どうしようかなあ」と思った時に、鈴新株式会社のスタッフが近くに

て必ずその相談に乗ってくれる。最適な仕入先を選択し、得意先との共同開発により得意先の問題を解決していくのです。得意先にとって鋼材が絡む開発では鈴新株式会社がない存在なのです。

### 3. 厳しい時代を乗り越えて

しかし創業以来いつも順風満帆ではなく、一時は会社として存亡の危機に立たされました。このとき鈴木社長は、中小企業が不得意な経営管理の仕組みづくりを行うことで、約10年にわたる厳しい経営状態を乗り越え健全な経営に戻しました。

### 4. 二人三脚の経営

お二人に共通するのは大変に勉強熱心であるということ。特に悦子夫人は2年半かけて社会人向けの大学院でMBAを取得し、理論的にもしっ

かりと経営を学んでいらっしゃるのです。もちろん自分たちだけではなく、社員の方々が学ぶことも積極的に支援しています。

“お金は体に着けてしまえ”つまり、お金は貯金で持っていても有効ではない、勉強に投資して身につけて働けばお金以上の価値になるというのが、先代新助氏の信条だったようで、こんなところにも先代からの影響が感じられます。

※詳しいインタビュー内容は、「千代田days」(<http://chiyodaya-days.jp/future/staffblog/legwork/2011/03/vol77.htm>)に掲載しています。

問合せ 産業まちづくりグループ

☎3233-7558(直通)

受賞企業の特典として、下段に広告を掲載しております。

お客様と積み重ねた75年。

これからも、いつまでも。

鉄鋼二次製品の専門商社として創業した当社が、あらゆる産業に貢献し得る企業へと発展できた理由。それはひとえに、お客様からの信頼と期待の賜物と考えています。「こういった製品が欲しい」「このように改良できないか」——信頼と期待に裏づけられたリクエストへひとつひとつお応えしてきた結果が、取扱商品の多様化につながり、より多彩なソリューションを実現したのです。私たちの歴史は、まさにお客様との二人三脚だったといえるでしょう。これからもさまざまなニーズへ、柔軟かつきめ細やかに対応できるパートナーとして努めてまいります。そして75年にわたり培った歴史を礎とし、すべてのお客様と足並みを揃え、ともにさらなる飛躍を遂げたいと願っています。



鈴新株式会社

〒101-0047 東京都千代田区神田2-4-4 藤和内神田ビル  
TEL: 03-5296-6641 FAX: 03-3255-9890

<http://www.suzushin.com>